

「官民給与の比較方法の在り方に関する研究会」（第7回）議事要旨

1 日時：平成18年5月26日（金） 15:30～17:30

2 場所：人事院第一特別会議室

3 出席委員

神代和欣座長、阿部正浩委員、岡田真理子委員、神林龍委員（石田委員、大竹委員、前浦委員は欠席、座長以外は五十音順）

4 審議経過

- (1) 事務局より、「論点整理メモ」について説明がなされた。
- (2) 意見交換が行われ、委員から大要次のような意見等があった。

（比較対象従業員の範囲に関する意見等）

- 企業規模を引き下げた時に、大企業と中小企業とでは、部長、課長等の名称は同じでも内容は必ずしも一致しないということを念頭に置く必要があるのではないか。部下数も同種・同等を判断する要素の一つであるが、それ以外にも、同種・同等というためには仕事の質というものも考慮していく必要があるのではないか。
- 民間準拠とは、公務員をまるごと民間に移した時に給与がいくら払われるかということなので、組織をそのまま平行移動して、公務員の方で部長が30人部下を持っているのであれば、民間の方も30人部下を持っている部長と対比させるべきであるという理屈になる。

（比較要素に関する意見等）

- 民間で公務員並みに勤続の長い人は、競争に生き残った特別の人達であり、勤続年数を比較要素に入れて公務員をそういう人と比較するのはなかなか理解を得られないのではないか。
- 元々官民比較は、官の組織をそのまま民間に持っていったときにいくらかかるかという考え方なのであるから、勤続や組織形態に官民間で差があらうと、官を構成する要素を全て比較要素として持っていくべきという議論もできるのではないか。

（比較職種の細分化及び拡大の可否に関する意見等）

- 比較職種を細分化して比較すると、現行の人事管理に大きな影響を与えるということは一応理解できるが、具体的にどのような影響があるのか。

- 国家公務員を企画立案と、窓口業務のような定型的業務に分けて処遇するということを主張する向きもあるが、これは国家公務員と地方公務員を一緒にした議論ではないか。そのあたりをきちんと分かるように説明した方がよい。
- 企画立案と定型的業務の分離といった話は、そもそも業務運営のあり方に関わる問題であり、給与比較の問題とは種類が違う。
いずれにしても職種の細分化は、任用制度や昇進制度などと密接不可分である。
- 行政職(一)以外の公務員との比較になじむような民間の職種はそれほど存在しないのではないか。

(ボーナスの官民比較の方法に関する意見等)

- 民間の場合、売上の増大、新製品の開発等、利益に直結するインデックスでボーナスの査定をしているところが多いが、公務は元々そういう仕事をしているわけではない。民間の平均的な支給ベースとバランスさせるのが、公務のボーナスを決めるうえでは妥当な方法である。
- ボーナスは配分が重要であり、民間でも、誰にどう配分するのかということが一番の問題となっている。これはまさに企業毎の給与配分の問題であり、そのルールは企業毎に異なっている。
- ボーナスは同種・同等といった枠を超えて個人の業績等に応じて配分されており、比較に当たっては事業所単位でボーナスの総原資を把握するということが十分なのではないか。

(その他の意見等)

- 現在の比較方法は歴史的に形成されてコンセンサスを得られてきているが、必ずしもこれが唯一絶対の方法だというわけではない。そうは言っても、官民給与をバランスさせることは、そう簡単ではないということをやうまく説明できないか。
- 単純平均でバランスさせればよいという意見が公の場に出るくらい、民間給与とのバランスということの意味が世の中の人には理解されていないので、きちんと説明する必要がある。
- 公務員給与は民間企業と異なり、市場原理によって決定することが困難だというのが、初任給については市場原理で決まっているのではないか。
民間の賃金決定と公務員の賃金決定では何が違っていて、公務員の賃金決定では何

が重要なのかということを中心に整理する必要がある。

- 企業は常に競争圧力にさらされ、倒産の危険が絶えずあるが、公務にはそういうことがないのは確かである。しかし、公務員は本来的に利潤のために働いているわけではなく、国家や社会、国民全体に対する奉仕や忠誠などが求められているという点に留意する必要がある。
- 基本的な公務の役割というのは何であり、そのためにどのような人材が必要であり、給与制度をこうしなければならないというフィロソフィのようなものを、一般の人々にも理解してもらう必要がある。
- この研究会は、現行の人事院勧告制度を前提として、官民比較方法について検討しているということをはっきりさせておいたほうがいいのではないか。

以 上

(文責 研究会事務局 速報のため事後修正の可能性あり。)